

I はじめに

大田区立図書館は、均質で公平なサービスを目標に掲げ、その実現を図るため図書館を適切に配置する計画に沿って、順次開設してきました。昭和 31 年に本区で最初の区立図書館である池上図書館が開館しました。その後、2 館が設置され、昭和 45 年には、中央館の機能を合わせ持つ大田図書館が開館しました。その後も建設が進み、現在は図書館数 16、その他図書館同種施設 1 館があります。

平成 28 年度は次の各項目を重点に事業を実施し、区民の皆様にとって利用しやすい図書館づくりを推進してまいります。

〔1〕おおた未来プラン事業「図書館の改築・改修」

老朽化の進んでいる図書館の改築・改修を進めるに当たっては、「地域特性」を活かした「情報拠点」として施設機能の向上を図ります。こどもから高齢者までの区民の学びの場となるよう環境を整備します。

平成 28 年度は、六郷図書館改築工事を開始します。

〔2〕公衆無線LANアクセスポイントの全館配置

平成 27 年度は、図書館利用者の調べもの学習環境を整備するため、各館に公衆無線 LAN アクセスポイントを設置しました。

〔3〕学校図書館支援事業の展開検討

平成 21 年度より学校図書館のさらなる充実と利用促進のため、学校やボランティアへの助言・指導等や、学校図書館の運営・整備への支援を、業務委託により試行してきました。

おおた教育振興プランに基づき、平成 27 年度は図書館業務の枠組みの中で、区内全小・中学校を対象に継続的な支援を行いました。